



令和元年度 第1回企画広報委員会の開催

第1回企画広報委員会を令和元年5月8日(水)、協会会議室で開催した。

1. 議 題

(1) 名称変更に伴う会報誌のタイトル変更について

- ・季刊「えひめの資源循環」第1号とすることに決定。
- ・題字は岡本副委員長の知り合いの書道家に依頼する。
- ・表紙デザインは案のまま愛媛らしい色「上はオレンジ下をグリーン」とする。
- ・デザイン案をメールで送るので確認すること。
- ・タイトル下の「5月号」を削除
- ・記事ページのデザインは上部の柄は無しにして、協会ニュースの横にアイコンのようなものがある方のデザインとする。

(2) 「えひめの資源循環」第1号(5月号)企画編集について

- ・裏表紙写真 ⑦の写真に決定
- ・ページが多いので行政ニュースの土砂条例、連合会ニュースの熱中症ク

ルワークキャンペーンの一部をカットする。

(3) 名称変更に伴う会員システムのリニューアルについて

- ・3月末に試作品完成、ボタンをクリックするだけで名簿印刷ができるようにする予定。

(4) ホームページについて

- ・1月から3月のアクセス解析の報告。

(5) その他

①「えひめの資源循環」第2号(8月号)の表紙について

- ・表表紙…8月号は県指定の「薬師堂の逆枝の公孫樹」に決定(松野町)
- ・裏表紙…仙遊寺(撮影者 貴田委員)

②次回委員会の開催日について

- ・第2号(8月号) 令和元年8月7日(水)13:30~(予定)
- ・編集後記…新委員長
- ・新メンバーになるので委嘱状送付とともに開催日は連絡する。

上記の内容について協議し、「えひめの資源循環」第1号(5月号)を5月末に発行した。



令和元年度 第1回事業委員会の開催

第1回事業委員会を令和元年7月4日(木)、協会会議室で開催した。議題及び協議結果は以下のとおりとなった。

1. 議 題

(1) 委員長及び副委員長の選出について

事務局から、委員会設置規程により、委員長は委員の互選とし、副委員長は委員長が指名することとなっていると説明し、互選により委員長には貴田敏幸氏が選任され、副委員長には本田明氏が指名された。

(2) 令和元年度講習会及び研修会計画について

事務局から資料に基づき、許可申請に関する講習会、愛媛県受託事業研修会、松山市受託事業研修会及び全産連受託事業電子マニフェスト操作体験セミナーの開催計画と全産連主催人材育成プログラムに関する研修会、BCP計画策定研修会の令和元年度計画の説明があり承認された。

(3) 県外視察研修について

事務局より、資料に基づき、平成30年7月豪雨災害の対応について岡山・倉敷(バス一泊二日)定員40名の視察案の説明がり、具体的計画を策定すること

で承認された。

(4) 四国八十八箇所遍路道清掃活動事業について

事務局より、各保健所と協議した結果、現在は遍路道周辺で実施するか未定である説明があり、西条地区か八幡浜地区のどちらかで実施することで今後県と協議していくことで承認された。

(5) その他

事務局より、当協会が来年40周年にあたり記念行事について意見を求めたところ、名前が残るものを贈呈したらよとの意見があり、理事会に報告することとなった。

事務局より、6月24日に愛媛県、全市町及び協会の災害廃棄物処理協力協定を締結したことを報告し、事業委員会が災害支援の機材等供給班になっている旨の説明があった。

2. 報告事項

(1) 平成30年度講習会及び研修会実績について

事務局より、資料に基づき実績報告があった。

他に意見なく閉会した。



令和元年度 第1回安全衛生委員会の開催

第1回安全衛生委員会を令和元年7月18日(木)、協会会議室で開催した。議題及び協議結果は以下のとおりとなった。

1. 議 題

(1) 委員長及び副委員長の選出について

事務局から、委員会設置規程により、委員長は委員の互選とし、副委員長は委員長が指名することとなっていると説明し、互選により委員長には青野通久氏が選任され、副委員長には小田原大造氏が指名された。

(2) 労働災害防止計画について

事務局より資料に基づき、平成30年度産業廃棄物処理業の労働災害現状、平成30年度労働災害防止計画の実施状況及び令和元年度安全衛生事業計画の説明があった。

(3) 火災対策について

事務局より資料に基づき、産業廃棄物処理施設関係の火災発生状況、火災防止対策及び火災発生後の対応について説明があった。

また、愛媛県より「産業廃棄物処理施設等における火災対策の徹底について」通知文書と協会より会員への通知文書の説明があった。

(4) その他

細野氏から、松山地区で安全衛生の研修会を開催する旨の説明があった。

委員会より、各地区において安全衛生活動の取り組みについて、研修会を行うよう理事会に図ることとなった。

他に意見なく閉会した。





令和元年度 第2回総務委員会の開催

第2回総務委員会を令和元年7月30日(火)、協会会議室で開催した。議題及び協議結果は以下のとおりとなった。

1. 議 題

(1) 委員長及び副委員長の選出について

事務局から、委員会設置規程により、委員長は委員の互選とし、副委員長は委員長が指名することとなっていると説明し、互選により委員長には西山周氏が選任され、副委員長には岩岡一平氏が指名された。

(2) 災害廃棄物協定について

事務局より資料に基づき、愛媛県と市町と（一社）えひめ産業資源循環協会との災害廃棄物等の処理等に関する協定について説明があり、災害時における災害廃棄物等の処理等の協力に関する協定の締結にともない、協会の災害時における復旧支援規程について一部修正の説明があり、案のとおり理事会に諮ることと

なった。

(3) 顧問・行政懇談会について

事務局より資料に基づき、実施時期、場所、時間について説明があり、10月3日に決定し、理事会に諮ることとなった。

また、議題について全役員及び地区に提出を求めることとし、理事会に諮ることとなった。

(4) 新規会員加入及び退会の承認について

事務局より、退会（正会員1社）、休会（正会員1社）について説明があり、理事会に諮ることとなった。

また、事務局より、会費徴収状況について正会員1社が会費規程第8条に該当する旨の説明があり、協会業務の停止を理事会に諮ることとなった。

(5) 組織強化について

事務局より、資料により現状の地区別会員数の説明があり、未加入業者への加入勧誘を図っていくこととなった。



令和元年度 第3回理事会の開催

第3回理事会を令和元年7月30日(火)、協会会議室で開催した。議題及び協議結果は以下のとおりとなった。

1. 議 題

(1) 災害廃棄物協定について

事務局より資料に基づき、愛媛県と市町と（一社）えひめ産業資源循環協会との災害廃棄物等の処理等に関する協定について説明があり、災害時における災害廃棄物等の処理等の協力に関する協定の締結にともない、協会の災害時における復旧支援規程について一部修正の説明があり、案のとおり承認された。

(2) 顧問・行政懇談会について

事務局より資料に基づき、実施時期、場所、時間について説明があり、10月3日に決定し、案のとおり承認された。

また、議題について全役員及び地区に提出を求めることとした。

(3) 火災対策について

事務局より資料に基づき、最近の産業廃棄物処理施設関係の火災発生状況について説明があり、火災予防対策と発生時対応について、再度会員に周知することとなった。

また、墜落・転落注意ステッカーについて会員に配布する説明と、高橋理事より、西条地区会員会社安全衛生パトロール・見学会開催の説明があり、

安全衛生地区活動を積極的に推進することとなった。

(4) 県外視察研修について

事務局より資料に基づき、水島エコワークス(株)及び岡山県災害廃棄物処理業務共同企業体に9月18日から19日に県外視察研修の説明があり、案のとおり承認された。

(5) 新規会員加入及び退会の承認について

事務局より資料に基づき、退会（正会員1社）、休会（正会員1社）について説明があり、承認された。

また、事務局より、会費徴収状況について、正会員1社が会費規程第8条に該当する旨の説明があり、協会業務の停止することが承認された。

2. 報告事項

(1) 委員会報告

(2) 全産連報告

事務局より資料に基づき、一括して委員会等の概要報告があった。

3. その他

(1) PCB使用安定器等の期限内適正処理及びアンケート調査の協力について

(2) 「事業継承勉強会」、「個別相談会」企画のご案内

(3) 今後の行事予定

事務局より資料に基づき、全産連、その他の今後の行事予定の報告があった。



2019年度 産業廃棄物又は特別管理産業廃棄物処理業の許可申請に関する講習会の開催

廃棄物処理法に規定された産業廃棄物処理業の許可申請等に必要な専門的知識・技能の修得のため、公益財団法人日本産業廃棄物処理振興センターが毎年実施している講習会が松山市のリジェール松山で開催された。

○ 産業廃棄物又は特別管理産業廃棄物の収集・運搬課程（更新）

開催日 令和元年6月12日(水)

受講者数 124名



○ 産業廃棄物の収集・運搬課程（新規）

開催日 令和元年7月10日(水)～11日(木)

受講者数 122名





平成31年度 優良産業廃棄物処理業者育成研修の開催

愛媛県からの受託事業である優良産業廃棄物処理業者育成研修会を、専門の講師を招き産業廃棄物処理業者を対象に下記の日程で開催した。

○ 産業廃棄物処理の実務者研修（基礎編）

開催日 令和元年7月24日(水)

受講者数 111名

研修内容 ① 開講挨拶

② 産業廃棄物処理の基礎（講師 岩田 隆氏）





令和元年度 3Rシステム事業化促進支援事業が決定

3Rシステム事業化促進支援事業につきましては、4月15日から5月25日まで会員に対して募集したところ、3件の応募があり、6月3日事業審査会を開催して学識経験者及び行政による厳正な審査をしたところ、全件とも採択されました。

また、協会が行う3Rシステム等調査研究事業については、検討会を設置し、再資源化技術について分析検討や調査研究視察を行い循環型社会ビジネスの事業化について取りまとめるとともに、災害時における対応強化のため、災害対応知識の向上を図るための講演会や伝達訓練を行う他、災害時に支援可能な資機材調査を行いますので、会員の皆様の積極的なご参加をお願いします。



補助金の種類	補助対象事業	補助率	採択事業	補助額
3Rシステム事業化促進支援事業費補助金(会員)	ア 研究・開発事業 県内の産業廃棄物の3R及び減量化・製品化に資するための研究・開発及びそれを踏まえた機器整備	3/4以内 補助限度額 500万円	(有)ジー・シー・オー 過熱水蒸気によるリサイクル事業化技術研究開発	500万円
			(株)イー・ジー・エス イオン交換樹脂等によるレアメタル等回収の効率化研究	500万円
	イ 技術・設備導入事業 産業廃棄物の3R及び減量化・製品化の推進に係る技術及び設備の導入	1/3以内 補助限度額 500万円	(株)ロイヤルアイゼン 食品リサイクル堆肥化設備導入事業	500万円
3Rシステム等調査研究事業(協会)	調査研究事業費 産業廃棄物の3Rのリサイクルシステム、新たな再資源化技術、災害時のBCP計画・災害廃棄物処理計画の策定等に資する調査研究	3/4以内	えひめ産業資源循環協会 3Rシステム技術研究調査事業	300万円

補助金総額1,800万円



災害時における災害廃棄物等の処理の協力に関する 新協定を愛媛県及び全市町と締結

平成30年7月豪雨災害において、市町との協力体制や発災直後における迅速な初動対応が課題となったことから、新たな処理体制を構築するため、6月24日新協定を締結しました。

主な改正内容等

- 災害廃棄物の処理主体となる市町を加えた、県・全市町・協会の3者協定。
- 災害廃棄物処理をより迅速に行うため、応援要請は市町から協会に直接行うことを基本とし、県は、災害廃棄物処理が円滑に進むよう調整を行う。
ただし、市町が対応できない場合は、従前どおり県が応援要請することも可。
- 災害に備え、平常時より災害廃棄物処理計画や協会会員が提供可能な資機材等の情報共有を図るなど継続的に協議を行う。
- 協会は応援要請時において協力会員を紹介して、市町と会員が直接やりとりすることを可とする。
- 県外災害廃棄物の処理について、県が協会に対し応援要請を行った場合は、協会は可能な限り協力する。
- 平時から、災害廃棄物処理計画や協会会員が保有する車両や資機材の情報共有を図るなど、継続的に協議を行う。
- 県及び市町は、災害廃棄物等の処理等に円滑な協力が得られるよう、協会に被災、復旧の状況等の必要な情報を適宜提供する。
- 協会（会員）は、災害廃棄物等の処理の実施に当たって、周辺的生活環境を損なわないよう十分配慮し、災害廃棄物等の再利用及び再資源化に配慮し、分別の徹底に努める。
- 災害廃棄物処理に要する費用は、災害発生直前における適正な価格を基準とする。